

認知症介護指導者 東京ネットワークbeingの活動



【設立】平成20年6月22日

【目的】認知症介護指導者の連携を深めると共に、認知症の方が尊厳をもって暮らせる社会の創造を目指す。

【活動内容】

- ① 会員相互の情報・意見交流、継続した自己研鑽支援
- ② 認知症介護に関する学識や技能の蓄積と会員及び関係者への還元
- ③ 認知症介護実践研修の修了生や認知症介護に携わる人の人材育成と認知症介護を継続的に支援
- ④ 家族や地域住民が互いに相談や援助しあえる環境づくり
- ⑤ 地域社会の認知症についての理解促進
- ⑥ 全国の認知症介護の質向上のために指導者の役割を明確化と地位の確立
- ⑦ 東京センターや他の関係機関と連携を図る

【会員数】369名 (H26.6現在)

【組織率】55. 2%

* 登録数ではなく、会費支払者数で算出

【これまでの活動成果】

- 総会研修会での自主フォローアップ
- 関東・九州でのブロック大会における市民向け講演会、フォーラム等の開催
 - 認知症ケアパス
 - 認知症介護フォーラムin小田原東日本大震災報告をもとに市民で考える
 - 介護劇、ポスターセッション
 - 若年認知症の本人の講演会
 - 認知症の人のための地域ケア(齊藤正彦先生)等々
- 指導者名簿の共有
- 全国の実践研修カリキュラムの共有
- 会報・メーリングリストでの指導者情報共有
- 指導者研修での講師担当

【現在進行中の活動】

- 指導者の優良実践事例収集
→3ネットワーク共同で出版をめざす
- 認知症介護指導者の倫理綱領の策定